



# 森園公園と ガラスの砂浜で のんびり。



天正遣欧少年使節顕彰之像  
ローマに派遣された4少年の像。  
彼らが出帆して400年目を記念し  
て建てられたもの。

## 大

村駅から足を延ばして、森園公園へ向かった。約

四・八ヘクタールの敷地には芝生の広場や遊歩道が整備されており、大村湾の潮風を感じながら遊べる場所として知られている。公園のすぐそば、長崎空港に架かる箕島大橋のたもとに広がっているのが「ガラスの砂浜」だ。ガラスの砂浜は閉鎖性の高い大村湾の自然環境を取り戻そうと、廃ガラスを加工した再生砂を利用して、二〇一六年に造成されました。近くで見ると、青、緑、黄色…と色とりどりのガラスが太陽の光に反射して、とても美しい。

定期的な清掃活動をしている井上繁樹さんによれば、ガラスの砂浜ができる前は、大量のオサガ打ち上げられ、その腐敗した臭いが漂い、ゴミも多かったという。この近くで家族と釣りや散歩を楽しむことがあった井上さんは、息子さんに「お父さんがきれいにしたら？」と言われ一念発起、ボランティア団体を立ち上げた。今では仲間を

はじめ、大学生なども一緒になって、清掃活動を続けているという。「最初は、みなさんが安心して楽しめる場所になればと思っただけなんです。まさかこんなに人気の場所になるとは思いませんでした」と井上さん。ガラスの砂浜は「インスタ映え」すると、今やちょっとした観光スポットになっているのだ。この日も撮影を楽しんでいる。この日も撮影を楽しんでいる若者たちの姿が見られ、「やりがいを感じますね」と井上さんも満足そう。

「ここは家族との思い出の場所でもあります」と話す井上さん。

ガラスの砂浜の近くには「天正遣欧少年使節顕彰之像」が建立されている。この使節は、日本で初めてキリスト教に



長崎空港は大村湾に浮かぶ箕島を造成して建設した世界初の海上空港として、1975年に誕生した。

改宗した大村の領主・大村純忠らが一五八二年にローマ教皇のもとへ派遣した伊東マンシヨ、千々石ミゲル、原マルチノ、中浦ジュリアンの四人の少年のこと。井上さんは「実は、この地域にはキリスト教、神道、仏教などさまざまな宗教の文化が混在しているんですよ。大村はそうした歴史を勉強しても楽しいまちですね」と話す。森園公園とガラスの砂浜。空港の行き帰りにぜひ立ち寄りた場所だ。



南国ムード漂う森園公園



近くで見るとより美しい「ガラスの砂浜」



「ここは家族との思い出の場所でもあります」と話す井上さん。



天気の良い日は海も砂浜もキラキラと光る。



少年たちの勇ましい表情が印象的。